

対話申込書

木更津市の「木更津市連携事業提案制度公募要領」に記載された内容について了承した上で、以下のとおり対話の申込みをします。

項目	記入欄
提案事業名称 ※テーマ設定型は、希望するテーマを【 】内にご記入ください。	【カーボンニュートラル:100%再エネ都市の構築 】
事業者の名称	ガーデンフィールド株式会社
事業者の所在地	川崎市宮前区けやき平 1 番
担当者の所属部署	総務(代表)
担当者の役職・氏名	代表 廣田祐次
担当者のメールアドレス	hirota.yuji@garden-field.com
担当者の電話番号	090-5203-8627
提案の概要 ※補足する資料がある場合若しくはこの様式によりがたい場合は、別途資料を添付してください(様式に定めはありません)。	<p>国連からの応援メッセージがあり、今後「global standard」となっていくであろう、低コスト・短納期・24 時間大容量の発電が可能で、森林のリサイクル性や環境にもやさしい「木造人工島の波力発電」と「海産物農業」とをご提案致します。</p> <p>スタートは木更津市様ですが、最終的には全国展開（及び世界展開）が要求されますので、各省庁や千葉県及び近隣の市町村様と、情報共有しながら、必要なお協力を要請しながら、また地域住民の意見を聞きながら、進めたいと考えています。</p>

技術内容の詳細につきましては、以下の URL をご参照下さい。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_9182ec6ba42d456cbd8415f715f1a705.pdf

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_0ec8a880653040a1af782f899aaddc4a.pdf

<具体的な進め方>

1. 概要

(希望者や推薦者がおられれば、席を譲りますが) 私がプロジェクトチーフとなり、毎週月曜日等の午後を使い、地域住民や海外からの希望者が居れば参列可能な、全開放型のプロジェクト会議を実施したいと考えます。

基本的に2023年7月（下期）から数年間、毎週月曜日（あるいは別の日）の午後に木更津市様の用意した会議室にて全開放型のプロジェクト会議を行う。

ノルマを課さず、また都合が悪い時は休める（審議を次回にまわす）ような自由な雰囲気、地域住民の暮らしさを最優先の内容にしたいと考えています。

「年間スケジュール概要」

6月：プロジェクト会議設定のための、準備会議を行う。（木更津市、広田）

7月～：プロジェクト会議を運用する。（木更津市、千葉県、千葉大学、広田）
：将来の輸出産業を考慮し担当メーカーの公募を行う。（EU諸国を含める。）

1. 木造人工島製造業者
2. 大型水車及び大型水車の軸受け並びに固定台業者
3. 木造人工島、大型水車、ギヤボックス&発電機の設置業者
4. 全体の電気ハード担当業者（必要な変電システム、送電線等を含む）
5. 全体の管理（ソフトウェア）システム担当業者（海産物農業を含む）
6. 海産物農業のハード担当業者
7. 海産物農業システムの設置業者

8月～：上記1～7の業者を決定し、さらに波力発電運営会社と海産物農業の養殖業者（複数可）の公募を行い、決定し次第、プロジェクト会議に参加をしていただく。

9月～トライアル発注（*）に対応した、各メーカーは12月末を目標に製品及び工具設計を行い、その進捗状況や課題（問題点）に関して、報告していただき、総合的な最適解を議論しながら、100%再エネ都市構築の準備及び遂行を行う。（木更津市、千葉県、千葉大学、テーマごとの担当業者、漁業組合、国交省、経産省、環境省、チーフ広田が参加：国交省・経産省・環境省はテーマにより、必要に応じ参加する。COP28での報告は、環境省（未定）が行う。）

24年1月：トライアル発注の生産開始

24年3月：トライアル発注の設置完了

24年4月：トライアル運用～

24年5月：本発注：100%再エネ化の準備開始

次の展開として、内容未定ながら、全自動木材加工工場を木更津市内に設置する。（各種原木や腐りかけた廃材を投入しても、使える部分のみを使い、必要に応じ、インローを設定しての接着後に加工する等、木材を全く無駄にしない。）

＜トライアル発注に関して＞

将来の拡販での利益を考慮し、各メーカーは無償で行い、また各メーカーは国や千葉県に対し、独自に補助金申請等を行う。（トライアル発注での木更津市の費用負担はなし。本設置の費用は、化石燃料購入負担減で、ほぼ相殺されると考えています。）

新しい開発システムとして、以下のようにバリウスリンク会議を設定し、そ

の状況をビデオ撮影することで、OUTOUT（図面と解説書）だけでなく、プロセスを紹介することで、「こんな条件なら、こっちの手段がいい等の情報で」応用が利き、より使いやすい資料（資産）になると考えています。

新しいビジネスの手法 バリウスリンク会議による開発

従来型

得意技術や設備の流用等で、企業又は企業群が取組みがしやすいものを提案

使いやすいものになっていない
マッチングしない、普及しない

取組がしやすいものではなく、世界共通の住民の使いやすいものにするを、第一優先とする。

バリウスリンク会議とは、住民又は使う人の意見を最優先させた開発システムであり、必要な技術は海外からでも調達し、開発を構成する企業群には、難しいノルマを設定せず、楽しく開発できるレベルで参加する。（偶然の特許技術は大歓迎）

世界初:100%再エネのmart都市

自治体も楽しく汗をかいて収益をあげる

木更津市、千葉県、千葉大学、テーマごとの担当業者、住民代表、必要に応じ、国交省、経産省、環境省…

図面及び開発プロセス(バリウスリンク会議の様様)を開示することで、普及を加速させる。

(諸技術に明るい)ビデオ製作&編集会社がバリウスリンク会議の状況をビデオ撮影し、日本語及び英語版を編集し、各15分程度にまとめ、木更津市のHPにて、会員のみ公開する。(当面G7内の企業のみQ円を支払い会員になる。)



(この3倍~5倍程度のイメージ)

服装自由
企業代表ではなく
個人としての意見を出す
なんでも自由に発言してよい

住民又は
使う人の意見を最優先
他人を批判せず、誰もが楽しい
気持ちになるように心がける。

売上げの1%等、木更津市及び参加企業、住民が分配。

ノルマを設定しない、自由で、明るく楽しい雰囲気での会議では、種々のアイデアが出てくるので、そのプロセスをも含め世界中に発信をしていく。(会員のみ)

木更津システム (KS) の収益構造について、G7 内の KS の導入を希望する自治体は、KS 会員となり、必要な発注額に 1.03 倍を予算化し、上乗せ分の 3% を KS に対し支払うものとする。

(KS は、KS 会員が発注したメーカー群には、図面やノウハウの提供や課題や問題点の相談を受付けし、全面的にバックアップをする。)

1% は千葉県銀行協会が受け取り、「総貸出額+利息」を各銀行が受け取り、残りは税金支払いやボーナスとして KS 内で配分する。残りの 2% を人工光合成の研究やウクライナ復興機器開発 (ツリー型&井戸掘り機等) に投資をする。

日本がダメになった理由として、一つは「同調社会」の問題で、良い技術を生むことより、飲みケーション的なものが重視され、先見力のないイエスマン達がリーダーとなっていることと、「もったいない社会」の問題で、何億何十億と段階的に設備を拡充してきたので、うまく流用できるようにしようとする動きが (=メーカー側の自己都合となり) ユーザーにとって、かゆいところに手が届かなくなってしまっている点です。

根回し等がうまく効率化につながり、30 年前は「同調社会」も有効だった。